

学校だより

朝日丘

氷見市立朝日丘小学校

氷見市朝日丘3番1号 TEL:74-8422 FAX:74-8423

令和8年7月1日

ピンチをチャンスに！

残念な出来事が起きてしまったとき、それをなんとか活かそうという気持ちをもつことが大切だと思っています。

例えば、STEAMミュージアムには、翼竜「プテロダクティルス」の化石のパズルがあります。このパズルは、元々一枚の化石でした。ある日、その化石が半分に割れてしまいました。割れたときはショックを受けましたが、もっとバラバラに割ることでパズルを作ることにしたのです。その他にも、地球儀の土台が壊れてしまったこともありました。そこで、地球儀を天井からつるして飾ることで、より空間を活かした展示となったような気がします。



<化石のパズル>

先日、クララの花が咲きました。でも、その翌日に台風の影響で何本かが折れてしまいました。折れたクララのうち、1本は校長室に飾りました。お客さんに紹介することができて、よい機会になったと思いました。もう1本は、あさひの丘こども園に持っていきました。園長先生がみんなに紹介し、園のホームページにも掲載して下さいました。折れてしまったクララですが、そんなふうに使って貰えて喜んでいることでしょう。

STEAMミュージアムの展示物が壊れたとき、クララが折れてしまったとき、どちらもショックを受けましたが、このように活かすことができよかったです。このような視点を持ち続けていきたいものです。



<6月2日のクララ>



<6月3日のクララ>

能楽公演

文化庁の舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）で、金剛会のみなさんが、能楽の公演を開いてくださいました。6月9日のワークショップでは、「笑い方や泣き方を学ぶ」「すり足を行う」「舞を舞う」「土ぐもの謡を歌う」「土ぐもの巣を投げる」といった体験をさせていただきました。



6月17日の本公演では「土蜘蛛」「柿山伏」を観せていただきました。太鼓をたたくなどの体験も代表者が行いました。能舞台を生で見るといって貴重な機会をいただき、心より感謝申し上げます。



<ホームページ「朝日丘小学校の宝物」より>

 <p>「GET!」 図書委員会の企画で「2冊貸し出し券」をGETしました。企画に積極的に参加することで、ますます本に親しむ機会が増えますね。</p>	 <p>「古きを尊ぶ」 紙芝居の読み聞かせをしています。映像等の技術が進歩した今だからこそ、実際に読んで聞かせることは有意義ですね。</p>	 <p>「説明する力」 自分が選んだ道具を使って、計算の方法を考えました。そして、その考えを説明しました。説明する力が育ってきましたね。</p>	 <p>「ほかほか言葉」 たくさんのほかほか言葉。自分で言えたら小シール、友達に言ってもらったら大シールをはります。気持ちのよい言葉が並んでいます。</p>
 <p>「語り合い力」 「自分の好きなもの」について語り合っています。話す力も必要ですが、それ以上に、相づちをいながら聞く力が重要です。</p>	 <p>「扱う力」 「顕微鏡が見たい」と思っても、実際に見るためには、明るさやピントを合わせなければなりません。道具を扱う力が重要です。</p>	 <p>「息を合わせる」 「土蜘蛛」の一場面。相手が足元を狙って払ってきた刀を、真上に高くジャンプして飛び越えてかわしました。息がピッタリですね。</p>	 <p>「連携の効果」 校門前で、小中連携あいさつ運動が行われました。先輩の姿を見習って、ますますあいさつが上手になっていきますね。</p>